

平成29年度（2017年度）第1回
箕面市立図書館協議会会議録

箕面市立図書館

- 1 日 時 平成29年(2017年)4月11日(火)
開会 午後2時30分 閉会 午後4時

- 2 場 所 箕面市立中央生涯学習センター 2階 講座室

- 3 出席委員 渡邊 智山 会長
日根 真理 副会長
藪本 正博 委員
生島 正代 委員
山村 則子 委員
久田 沙織 委員
忽那 正 委員
笹川 実千代 委員
勝間田 麻也 委員
涌嶋 卓 委員

- 4 傍聴者の有無 無し

- 5 出席職員 大迫 美恵子 中央図書館長
岡野 真須実 中央図書館参事
才元 秀晃 中央図書館参事
岡 順一 東図書館長
宮本 誠義 萱野南図書館長
岡本 英子 小野原図書館長

- 6 議事日程
日程第1 (報告第1号)
平成29年度(2017年度)予算について
→平成29年度(2017年度)予算について説明。意見交換。
日程第2 (報告第2号)
図書館広域利用について
→図書館広域利用について説明。意見交換。
日程第3 (報告第3号)
図書館概要について
→図書館概要について説明。意見交換。

【会議次第】

○日程第1（報告第1号）

平成29年度(2017年度) 予算について

事務局から当初予算について、事業実施に関しては、昨年度から大きな変更はなく、増減の主な理由は光熱水費等の施設管理経費を実績にあわせて調整したものであることを資料に基づき説明。また、今年度の課題は、図書館広域利用の拡大の実現、中央図書館リニューアル後の状況をふまえて他図書館への応用であること、また、昨年度から学校図書館との相互返却を試行実施であることを説明。

- 会 長 : 今の報告について、ご意見、ご質問等あれば出していただきたい。
- 副会長 : 図書館協議会は、平成27年度が3回、平成28年度が1回だったと思うが間違いないか。
- 事務局 : 間違いない。
- 副会長 : 平成29年度は、図書館協議会は3回開催されるのか。
- 事務局 : 3回開催する予定である。
- 委 員 : 中央図書館のリニューアルを、他の図書館にどのように反映させるのか。また、公共図書館と学校図書館の相互利用の状況はどのようなものか。
- 事務局 : 中央図書館のリニューアルは「親子の空間を他と分けたこと」、「飲食OKのスペースを設けたこと」が大きなポイントだったが、中央図書館の状況を総括し、他の図書館にどれをどう反映させるかということは、具体的には進んでいない。
- 委 員 : 進めば報告いただけるのか。
- 事務局 : 報告するので協議会としての意見を聞かせていただきたい。
相互利用については、今手元に具体的な数字はないが、特定の児童・生徒の利用にとどまっている。1年経った段階で今後どうするか考えていく。
- 委 員 : 萱野東小や四中の児童・生徒に周知しているか。
- 事務局 : 夏休み前に全児童・生徒にチラシを配布し、夏休みに公共図書館で借りた本を学校図書館で返せることを知らせたが、あまり利用はなかった。小学3年生の全生徒が図書館訪問に来るので、そういう機会を利用してPRを図る。

会 長 : PR方法が今後の課題であると思う。

引き続き事務局から図書館システムの現状について、自動貸出機やウェブサービスの使い勝手を改善し、現在ではほとんど利用に関する問い合わせは無くなったこと、また、本年度中にウェブサービスについては、より操作性が向上される予定であることを説明。

会 長 : 今の説明に対してご意見、ご質問等はないか。

副会長 : 1年前の協議会で、薄いブルーに白抜き画面は、視力の弱い人には見えにくいと申し上げた際、色を変えるのは軽微な変更なので割に簡単にできるという話だったが、変わっていない。色の選定を考えていただきたい。

会 長 : 今の段階で言えることはないか。

事務局 : 開発業者との協議を進めているがまだ反映できていない。
白抜きの文字がアクセシビリティ上、全く使えないものではなく、コントラストの問題だと考えている。コントラストのチェックは行っている。

事務局 : コントラストのチェックは行ったが、100パーセント良い、悪いの判断でなく、点数制になっており、できるだけ高い点数の設定になるように検討している。

事務局 : 明確にどうするのが一番良いか指示が出せないまま今に至っている。

副会長 : 視覚障害のある人には単純に考えて、黒抜き、黒に白、白に黒で表示していただいたら見やすいのではないか。そうすれば簡単に解決する問題だと思うが。

会 長 : 引き続き検討をよろしく願いたい。

○日程第2（報告第2号）

図書館広域利用について

事務局から、北摂7市3町の図書館広域利用の開始について資料に基づき説明。

事務局 : 箕面市民にとっては、茨木市の彩都西分室が利用できるようになることがメリットと考えている。また、吹田市、茨木市民から

利用の要望が高かった小野原図書館を使っただけになる。

会 長 : 北摂7市3町の広域利用で併せて全55館になり、非常に魅力的であると思う。これに対して何かご意見、ご質問があればお願いしたい。

委 員 : 彩都西分室での予約はできないということだが、茨木市の他の図書館から取り寄せは可能か。

事務局 : できない。彩都西分室にある本だけが借りられる。

委 員 : 豊中市はCDの貸出も行っているが、取り寄せはできないのか。

事務局 : 取り寄せはできないが当該図書館に行って直接借りることはできる。

委 員 : 視覚障害がある高齢のかたから、CDで落語等を聴きたいという要望があるが、箕面市ではCDの貸出は検討されていないのか。

事務局 : 方向性としては、一部の図書館ですで行っている、ネットを介して好きな音源を聞くことができるサービスを利用できるようにすることがいいのではないかと考えている。ただ、その方法も現在の箕面の図書館の環境では使いにくいところもあり、検討しているところである。

委 員 : 高齢者はパソコンを使わないかたが多い。箕面は子どもに対して力を入れておられるが、高齢者に対しても便利な方法を考えていただけたらと思う。

事務局 : 視聴覚資料の提供については、各委員の皆さんの意見も伺いたい。

会 長 : CDの相互貸借はできないのか。

事務局 : CD、DVDの相互貸借が可能な市は、大阪府下でほとんどない。大阪府立中央図書館からCDを借りることは可能である。

会 長 : 著作権の問題等もあるので、そこで利用するというのが原則だと思う。ネットで音源を取り入れるという話だったが、それができない人に対する配慮をどうするかが課題だと思う。

副会長 : 館内で聴けるのにどうして貸出できないのか。他市ではできている。今あるものだけでも貸出できないのか。

事務局 : データ作成や貸出用ケースが必要になるなど、経費が必要となるため、貸出していない。

副会長 : リクエストに応じて人気がある本をたくさん購入されるが、それを減らして、その分の経費をCD貸出に回したほうが有意義ではないか。

- 事務局 : 人気のある本は多くの予約があり、もっと早く読みたいという要望がある。そのあたりのバランスが難しいところだ。本の購入にあたっては、複本を出来るだけ最初から購入せず、購入する場合も予約件数に応じて上限を設けており、むやみに人気のある本をたくさん購入しているわけではない。
- 副会長 : 人と本を紡ぐ会にリサイクル本として、人気のあった本が何冊も来るので、こんなに購入されていると思うことがある。
- 委員 : 英語教育もリスニングが大切になっているので、子どもや中高生向けにそういった資料を入れてほしい。
- 会長 : CDを貸出している図書館もあるということだが、箕面市も経費の面がクリアできれば可能か。
- 事務局 : CDの貸出は著作権上問題ないが、DVDは貸出可能の許諾を得たもののみ貸出できる。
- 会長 : いろんな制度上のことがあるので今後の課題だと思う。
- 委員 : 広域利用になると利用が増え、人気のある本に今まで以上に貸出が集中すると思うが、体制的な面も含めて何か対策は考えているのか。
- 事務局 : 特に対策は考えていない。豊能地区で広域利用を開始した際も、書架の本がなくなるほど借りられることはなかった。日常の業務の中でやりくりしていく。
先ほどの視聴覚資料の件は、今後検討していく。

○日程第3（報告第3号）

図書館概要について

事務局から「箕面市立図書館概要」について説明。

- 副会長 : 西南図書館の事業実施状況において、落語の会の参加人数が、定員を超えているのではないか。確認いただきたい。
- 事務局 : 調査し修正する。
図書館概要については、もっと早く作成したいと思っている。そのために内容を見直していきたい。何かご意見があれば伺いたい。
- 副会長 : 発行が遅くなるような、まとめるのに時間がかかる箇所があるのか。

- 事務局 : 同じデータが見せ方を変えて何回も出てくるので、そのあたりのチェックに時間がかかる。
- 委員 : その年度の重点課題にしたものの計画と報告があれば良いと思う。それ以外に経年比較が必要なものがあれば、数値を出してもらえば良い。
- 会長 : レファレンス業務が何パーセント増えたなど、経年的なグラフがあれば、ビジュアル的に見やすくなると思う。
- 事務局 : 数値的には示してある。見せたいものが、すぐにわかるような工夫が確かに必要だと思う。
- 会長 : 特に上がった部分などは図書館が良くなったことの証明にもなるので、すぐにわかる表示があると良いと思う。
- 事務局 : 平成28年度の統計で速報で出せるものがあつたので、お知らせする。平成28年度の貸出冊数は、1,663,586冊で、平成27年度より約5万冊増えている。貸出密度は、平成28年は12.3パーセントが見込まれており、これは他自治体と比べても高い数字である。貸出冊数は平成27年度の数値を比較すると、人口10～15万人の104自治体中3位である。
- 委員 : 1位はどこか。
- 事務局 : 1位は武蔵野市、2位は多摩市である。
武蔵野市は武蔵野プレイスという図書館が駅前にあり、雑誌等でもよく紹介されている図書館である。
- 会長 : 1位、2位と比較しての分析が必要かもしれない。上位の図書館はどこに魅力があると考えているか。
- 事務局 : 検証できていないが、印象としては武蔵野市は武蔵野プレイスをはじめ立地や施設の魅力があり、近隣に大学などもある。多摩市は施設の状況はあまり箕面市とかわらない。地域性もあると思う。
- 会長 : 新たな企画があれば教えていただきたい。
- 事務局 : 図書館としては特にはないが、市の取り組みとして、子育て支援課が市内の公共施設で子育て中のお母さんが集まれるような場所作りを行っており、「おひさまDay」と名づけて、市内の公共施設で、子育て相談などを実施している。まだ試行段階であるが、図書館のおはなし会と日程を合わせる形で隔月に実施している。
- 副会長 : 西南図書館ではおはなし会が木曜日にあるが、別の部屋で子育て事業を行っているようだ。
- 事務局 : スペースの関係で別の場所で行っているところもある。中央図

書館は絵本コーナーで行っている。

副会長： 西南図書館のように、おはなし会と別の場所で行うのはもったいない。一緒に行ってほしい。

事務局： 確認して調整する。

委員： 声の会からの要望として対面朗読のPRをもっとしてほしい。
対面朗読の利用者が増えるよう広報紙等でもっと周知をお願いしたい。

事務局： 図書館からの情報提供として、広報紙でのお知らせのほか、声の会のご協力をいただき、「声と点字の読書情報」を隔月で利用登録者にお送りし、対面朗読についてもお知らせしているが、なかなか利用につながらない。以前からご要望いただいているので、もっと周知できるように考えていく。

会長： もう少し広報の仕方等の工夫を検討いただけたらと思う。

前回、萱野南図書館が大阪大学と併せて新図書館になるという話があったが、その後の情報があれば教えていただきたい。

事務局： 今のところまだ具体化されていないが、今後新図書館の運営について意見をお聞きする予定である。その際には、もう少し状況等説明できると思う。

委員： 定年退職後の人のための催しを何かしてほしい。子供向けの事業しかないので、大阪市などを参考にもっと増やしてほしい。

副会長： 人と本を紡ぐ会からイベント等紹介させてもらう。人と本を紡ぐ会と図書館が共同で西南図書館でテーマ展示を行っている。春の展示は「アイラブみのお」をテーマに、みのおの街並みのパネル展示と講演会も開催することになっている。時間があれば参加いただけたらと思う。また、紙芝居コンクールの受付が4月14日から始まる。1ヵ月間受付をして、一次審査、二次審査を経て、7月15日の最終審査会で受賞作品が決まる。また、16日には紙芝居まつりが行われるので、こちらの方も興味があればお越しいただきたい。

委員： 中央図書館にある入賞された手作り紙芝居を、デイサービスセンターでボランティアで実演したいが貸出は可能か。

事務局： 実演することについては、作者の了承がいただけていなかったもので、確認作業を順次行っている。現在は一部の作品のみ確認がとれており、実演のための貸出が可能である。

会長： 他にないようなら本日の会議を終了する。